

協議会会議録

審議会等の名称	第1回 山口市中学校部活動地域移行推進協議会
開催日時	令和6年10月23日（水曜日） 13:30～15:40
開催場所	湯田地域交流センター 大・中会議室
公開・部分公開の区分	部分公開
出席者	吉岡秀夫氏（大庭達敏委員代理）、中谷重広委員、藤田幹委員、森國光孝氏（石田敬三委員代理）、桑原智恵委員、松田和寛委員、濱崎美幸委員、宮崎康生委員、佐伯弘明委員、河村靖彦委員、村瀬充俊委員、足立直之委員、川上修一委員、宮崎知彦委員、藤井英樹委員、岡村萬利雄委員（16名）（敬称略、順不同）
欠席者	なし
事務局	教育委員会事務局学校教育課副参事、同主幹、交流創造部次長、同政策管理室長補佐、部活動地域移行推進室長、同副参事、同主任主事、同部活動コーディネーター（8名）
議題	議題1 山口市の中学校部活動の現状と部活動地域移行の進捗状況 議題2 地域クラブに関する検討事項 議題3 地域クラブ運営ガイドラインの策定
内容	※要点筆記 会議に先立ち、次第に基づき以下のとおり進められた。 1. 開会 （1）委嘱状の交付 （2）市長あいさつ 【市長】 山口市中学校部活動地域移行推進協議会の開催にあたりまして、一言御挨拶を申し上げます。 委員の皆様におかれましては、平素から市政各般にわたり格別の御支援と御協力を賜っておりますことに厚くお礼を申し上げます。また、公私共に御多用中にもかかわらず、本協議会委員への御就任をお願いいたしましたところ、快くお引き受けいただき、誠にありがとうございます。 御案内のとおり、全国的に少子化の進展など、社会情勢が大きく変化をしております中で、中学校の部活動をこれまでと同様の体制で運営することが難しい状況となっております。 こうした中、本市におきましては、「第二次山口市総合計画後期基本計画」において取り組む6つの重点プロジェクトの1番目に、「子ども・子育て全力応援のまちづくり」を掲げておりまして、部活動の地域移行についても、生徒の育ちや学びをしっかりと支えていくという立場から検討を進め、本年3月には、すべての生徒が、さまざまなスポーツや文化芸術活動に親しめる環境の構築を目指した「山口市中学校部活動の地域クラブ活動への移行に関する推進方針」を策定したところであります。

現在、令和8年9月からの運用開始を目指して取組を進めておりますが、本市の広範囲に及ぶ市域や人口分布の偏在といった地域特性などを考慮いたしますと、この地域移行は、学校や生徒、保護者のみならず多くの方々の御理解と御協力が必要となる、非常に大きな事業であると考えております。

これから皆様の豊富な経験や、高い見識から、忌憚のない御意見や御提言、そして、活発な御議論をいただきながら、部活動の円滑な地域移行に向けた取組を進めてまいることとしておりますが、どうか皆様には、子どもたちの立場に寄り添った、子どもファーストの視点を大切に、この検討を進めていただきたいと存じます。

委員の皆様のお力添えを賜りますよう、よろしくお願いを申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

—市長は他の公務のため退席—

(3) 委員の紹介

【事務局】

会議の情報公開の取り扱いについて、次第6意見交換については個別情報等を含む可能性があることから、非公開とし、冒頭から議事説明までを公開とする、部分公開の取り扱いとすること及び、議事録については要点筆記とし、発言者の実名を伏せた上で公開することを提案 →了承

(4) 会長、副会長の選任

【事務局】

山口市中学校部活動地域移行推進協議会設置要綱第5条第2項により、会長、副会長を選任する。

—以降、会長により議事進行—

2. 議事

(1) 山口市の中学校部活動の現状と部活動地域移行の進捗状況

【会長】

「山口市の中学校部活動の現状と部活動地域移行の進捗状況」について事務局の説明を求める。

【事務局】

資料1、参考資料1、2を用いて説明。

(2) 地域クラブに関する検討事項

【会長】

「地域クラブに関する検討事項」について事務局の説明を求める。

【事務局】

資料2、参考資料3を用いて説明。

(3)地域クラブ運営ガイドラインの策定

【会長】

「地域クラブ運営ガイドラインの策定」について事務局の説明を求める。

【事務局】

資料3を用いて説明。

—報道・傍聴人退出—

—以下、会長、委員、事務局の発言要点—

【会長】

議題1「山口市の中学校部活動の現状と部活動地域移行の進捗状況」の決定事項について、疑義がないか確認。→疑義なし

【会長】

議題2「地域クラブに関する検討事項」のうち「(1)地域クラブの運営本部・実施主体の設置について」、質問や意見を求める。

【A委員】

「中学校区単位」とあるが、どういったものか。

【事務局】

「中学校区」を基本に地域クラブを組織化したい。今ある中学校に所属する地区を範囲とし、地域クラブを組織化するもので、例えば●●中学校であれば、●●中学校区を1単位として1クラブを組織化することを検討している。

【A委員】

●●中学校付近には、中学校区としては別の中学校ではあるが、●●中学校に通うことが可能な地域の中学生もいるが、こういった生徒が●●中学校の地域クラブには参加できないとの整理か。

【事務局】

あくまで中学校区単位で考えていきたいとは思っているが、近隣校において、その学校規模が小さいなどの理由から、自身の学校に望む競技がない場合においては、他校の地域クラブ

へ通える仕組みについて改めて検討しなければいけないと思っている。

【B委員】

私の認識では、中学校区で現在行われている部活動は、地域クラブとして継続され、規模が小さいなどの理由から、やりたい文化・スポーツがその中学校になれば、その隣の中学校に行って良いものだと思っていたが、その検討は今からなのか。

【事務局】

基本的には、今ある活動を単独校で守っていくのが大方針であり、単独の学校単位で1つの部が成り立っているものについてはそのまま継続する。

やりたい部活が通っている学校にないという場合において、現状の学校部活動では、他校の活動に参加することができないが、地域クラブとなった暁には、当該生徒が例えば隣の学校の地域クラブに、移動等の負担がかかることを了承していただいたうえで、参加できるようにしたいと考えている。

【C委員】

運営本部しかり、学校区単位の立上げしかり、全てのスポーツ・文化が統一と考えてよろしいか。

【事務局】

お見込みの通り、スポーツ・文化共に統一した方針、方向性と考えている。

【C委員】

書道部や総合文化部など、平日のみ活動の部活もあるが、これについても地域の方が指導をしてくださるという整理でよろしいか。

【事務局】

文化部については、今ある部活を移行するという大方針に沿いながらも、改めてその活動状況や地域の指導者の有無を含めて洗い出しを行い、個別に相談の上、検討させていただくこととなると考えている。

【B委員】

仮に地域移行の令和8年9月までに指導者が見つからなかった場合、その活動は廃止となるのか。

【事務局】

子どもたちの活動の場をなくしてはいけないと思っている。移行までに指導者を見つけるための活動が重要であるが、どうしても見つからなかった場合も、子どもたちの活動が継続できるように何らかの手立てをする必要があるだろうと考えている。極端に言えば、学校部活動を継続するのか、あるいは地域の枠組みを超えてでも指導者を探すなど何らかの手立ては行っ

ていきたい。指導者が見つからないので、そこで活動は終了するというだけでは避けたいと考えている。

【C委員】

地域に指導者が既にいるため、既存にない新たな種目のクラブを作る想定はあるのか。

【事務局】

現時点においては、今ある部活動を引き継いでいくということを第一段階として進めていき、軌道に乗った時点(第二段階)で生徒たちのニーズに沿った新しい活動については進めていきたい。ただし、現段階で新たな種目に対応すると明言はできないが、強いニーズがあり、指導者も既に確保ができている場合などは、個別に対応していくことも視野に入れていきたいと考えている。

【A委員】

この度の移行の対象は、市立中学校のみとなるのか。市内には国立、私立中学校があるがこれらを含めた形となるのか。既に連携をとっているのか。

【事務局】

市内には国立の●●中学校、私立の●●中学校があるが、現時点ではこれらを含めた形は考えてはいない。ただし、これらに通う市内在住の子どもたちが本市の地域クラブで活動ができる環境については、必要に応じ、別途検討していきたいと考えている。

具体的な連携については、当該校からの話もきておらず、また、特に私立中学校については当該校の部活動の方針等々も当然あると思っており、議論には及んでいない状況である。

【D委員】

新しい競技・種目・活動等について情報提供をしたい。伝統文化の継承として、部活ではないが、鷲流狂言に取り組んでいる生徒や、スポーツ少年団や社会体育活動においてなぎなたやボッチャ、よさこいなどの活動を行っている実態がある。山口市の推進方針にある「多様な活動の機会の確保」を目指すにあたっては、こういった活動も検討いただけるとありがたい。

【E委員】

県の中体連の下部組織として、山口市の中体連がある。

中学校の運動部については、中体連主催の大会及び各競技団体主催の大会に参加している。

中体連主催の大会は5、6、9月の年3回実施しており、これを取りまとめている組織が市の中体連である。組織には、市内の中学校長が務める支部長、市内中学校教員が務める理事長の役職があり、大会日程の決定や会場確保、大会運営を行い、年間800万円の予算を動かしている。これらの役職は、地域クラブの運営本部で取り組まれるとの理解でよろしいか。この役職がなければ大会の運営ができないため、今後の地域移行に伴い、どのような運用にするか、県内の中体連でも一番の課題となっている。支部長、理事長の他にも、各種目の部長として、

各学校長が大会に参加しているが、これについても各競技団体や各連盟、協会の会長等にやっていただけるのか、中体連の運営を、この度の地域クラブの運営本部が担うのか、それともそれ以外の者が担うのか、どのように想定しているか。

【会長】

県内の他市中体連はどのような対応になっているのか、御存知であれば伺いたい。

【E委員】

県内の状況は、動き始めたばかりで進んでいない状況ではあるが、防府市は、地域移行を市が中心となって行っていることから、中体連組織は市の組織内に入っていくのではないかと考えている。

各クラブチームの指導者の中から、中体連の理事長などの役職を務めてもらえれば一番良いと思っているが、仕事と並行して務めるのは、800万円の予算を動かすことから非常に難しいと感じている。

【会長】

令和9年度の中体連の全国大会は競技数を縮小しながらも開催することが決定されているが、その他情報を持ち合わせているか。

【事務局】

中体連の組織自体が今後どうなるのかについては、私どもは情報を持ち合わせておらず、分かっていない状況である。

中体連自体はあくまでも学校組織を基礎とした団体であると認識をしており、設置目的を鑑みると、民間組織の方が入っていける組織形態にはなっていないと感じており、今後私どもも、どういう形で関わっていったらよいのかが見えていない状況である。

今回示している運営本部については、あくまでも地域クラブを運営する統括的な業務を担うものであり、例えば指導者報酬の一括管理や、会員情報等の一括管理、保険の加入等の事務の管理などを一括して行うことを目的としており、現在中体連で担われている業務は加味していない状況である。

【E委員】

部活動の地域移行については、全国的に見ても山口県は先進県とされている。昨年度からは、国の方針でクラブチームが中体連の大会に出られるようになり、今年度は県内で150のクラブチームが中体連の大会に参加している実情がある。各競技団体の大会だけではなく、中体連の中国大会、全国大会へ進んでいくには、まず、市の大会を開催する中体連組織がなければならぬので、やはりこの運営をどのようにするかが一番の課題であると考えている。

【事務局】

中体連の組織の仕組について、全容を把握していないため、今後個別に話を伺いたい。

県内他市と足並みをそろえ調整する必要などもあろうかと思うので、まずは、中体連がどの

ような仕組となっており、どのように大会等運営しているのかなど、細かな部分もお聞きした上で、どういった体制をとるのが良いのかは、個別に協議させていただきたい。

【会長】

議題2「地域クラブに関する検討事項」のうち「(2)地域クラブ活動の競技・種目等について」、「(3)地域クラブ活動の活動場所について」、「(4)地域クラブ活動の活動日数、活動時間について」、質問や意見を求める。

【F委員】

推進方針に「すべての生徒が、さまざまなスポーツ・文化芸術活動に親しめる環境が整っています」とあることから、吹奏楽部は現在、山口市内中学校の半分も設置していないが、今後は自分の学校に吹奏楽部がないのであれば、他の学校に行けば活動ができる環境を整えていただけていると思っている。

一方で、学校で活動ができるのか、前々から疑問に感じている。音楽室は中学校によっては、●●中学校、●●中学校、●●中学校のように、音楽室が離れにあるなど、外から入りやすい場合もあるが、ほとんどの場合は、奥まった箇所に配置されていることが多く、校長室などがある職員棟等を通っていかなければならず、地域の方が指導にあたるとなると、施設利用にあたっての課題がある。市が地域クラブを運営管理するとはいっても、結果として学校の教員が関与しなければならないのではないかと。

楽器は高額なものが多いが、様々な人たちがそれを触り、関与するとなると、誰が整備、管理するのも問題となる。

また、現在、部活動の外部指導者として関与しているが、部活動の開始時間は毎日定時で開始されるのではなく、試験や文化祭など、学校行事によって前後することが常で、毎日のように開始時間が異なる。この状況からも、学校の教育活動の終了と地域クラブの開始の切り替えのタイミングは難しく、30分から1時間程度、一定の時間を空けないとならないのではないかと。

学校の部活動は、とても強くなっている。外部指導者が入ることで、地域移行の問題が終わるのであれば、一番いいと思っている。しかし、この問題は、学校教員の働き方改革の側面もある。外部指導者が関与する部活動の顧問の先生は、外部指導者への連絡調整などのため、より忙しくなっていると思う。

活動場所が学校であれば、保護者は、学校にいるのであれば学校の責任ではないかという認識もあると思う。学校管理下と、地域クラブの管理下の線引きと責任の所在についての問題が生じてくるのではないかと。

吹奏楽の活動場所について、こういった事情から本当に各校でよいのかと考えている。私としては、比較的外部からも出入りのしやすい3校は学校で、●●中学校はセミナーパーク、●●中学校、●●中学校は公民館、●●中学校は一般バンドに参加させてもらえばよいかな、などと考えている。

【会長】

ありがとうございます。情報提供も兼ねてお話しいただいた。

【事務局】

学校の校舎で活動されている部活については、指導者が地域の方になり、学校の管理下から離れてしまうことにより、校舎を利用することについてのハードルがあることは認識している。

セキュリティを分離するなどの対応をすることで、今まで通り利用することができないか検討していきたいが、各学校の施設状況に応じて、個別に議論する必要があると思っている。

子どもたちが、それぞれの学校、17校区で活動できるよう、地域クラブを立ち上げていきたいという思想の中で、やはり活動場所についても各学校が基本だと思っている。委員御指摘のとおり、外からの出入りがしやすい学校と、そうではない学校があることから、各学校で、外部の方が入るにあたって何が問題なのか、個別に洗い出しをする必要がある。その上で、やはり校舎の利用が難しい学校では、当該学校の近隣で、他の活動場所を探すことも含めて検討していきたい。

【G委員】

私の住んでいる地区の中学校には、有志の合唱団がある。こういった活動は、地域クラブの枠組みに入るのか。

【事務局】

●●中学校の件だと思うが、このことについては校長先生ともお話をさせていただいているところで、●●中学校の合唱は歴史ある活動をしていることから、令和8年の9月までに、中学校として、今後どういう取り扱いをしていくか検討してくという話をいただいている。この検討結果によって別途検討することとしたい。

【H委員】

有志合唱団については、私も心配しているところ。●●中学校以外に●●中学校にもあり、両団体ともに歴史もあり、成績もよい。

また、以前、●●中学校で部活動の合唱団が1つ、有志合唱団が1つの、2団体あったことも何年間もあり、混声と女声で大会へ出場した。有志の合唱団には、運動部の活動者も参加するなどしており、指導者が地域移行を見据えた動きをしていたものだと思っている。

●●中学校の有志合唱団は、地域の方々に熱心に支えられており、学校、地域ぐるみの活動が既に完成されている非常に良い、特殊な例ではないかと思う。

また、先ほど話題となった、公立校以外の生徒の扱いをどのようにするのか、●●中学校の場合は中高一貫校として、文化部、運動部ともに、高校生と活動ができる環境が特色であると思う。

市の意向として、勝利至上主義に偏ることのないクラブを目指しているとのことだが、山口市は教育熱心なまちであり、競いたい、しのぎを削るというところにモチベーションをもっていると思う。質の高い、文化都市として築き上げた性質だと思うので、そういったところも踏まえていただきたい。

また、吹奏楽、合唱、運動部など、音を出す活動は、学校だから許されている活動で、近隣住民の御厚意で成り立っているものであると思う。

合唱連盟では、連盟独自の地域移行ガイドラインを策定しており、地域クラブの参画も可能なように体制を整えており、様々なケースにも移行措置をとり、救済するなどしている。

地域移行をするにあたっては、皆さま方の相互の理解や協力がなくてはならないことなので、教育熱心な山口市を盛り上げるべく、鷺流狂言なども絡めながら、文化力をさらに盛り上げるような、子どもたちを育てていく、特殊な取組ができればいいなと思っている。

【会長】

ありがとうございました。「教育なら山口」を掲げている市としても非常に参考となる御意見だと感じている。

【I委員】

●●中学校学校運営協議会の主催で、●●中学校吹奏楽部、●●小学校の合唱団、地域一般バンドの3つの団体が、ビッグシェルと一緒にふれあいコンサートを行っている。この活動においては、一般バンドの方が、中学生を指導しており、この仕組みが地域クラブの地域指導者として活用できないかと考えている。

地域と学校を結ぶ指導の下、これまで2回開催し、来年3月にもう1回開催予定である。もっと地域の方に参加していただける状況ができればと思っている。

合唱にしても、吹奏楽にしても、先ほどから話題にあるように、音が発生し、また、楽器によっては広い保管場所も必要で、移動が難しいものもあり、パート毎で練習できる場所も必要なことから、学校の楽器を活用し学校で練習を行うのが望ましいと思う。一方で、該当する教室が、別棟になっていない場合などは活用がなかなか難しいのではないかと感じている。

【会長】

議題2「地域クラブに関する検討事項」のうち「(5)地域クラブ活動の指導者について」、質問や意見を求める。

【J委員】

あと2年間で準備をしなければならないが、一番大変だと思われる点は何か。

【事務局】

平日と休日両方を令和8年9月に移行していくという方向性のため、平日の指導者の確保が一番の課題だと思う。例えば現行の部活動のように、放課から日没までの活動時間となった場合、お仕事をお持ちで指導に来られる方がどれだけいらっしゃるのかということが一番危惧している。

【J委員】

部活動の地域移行にあたって、全国的に今一番難航しているのが指導者の確保だと聞いて

いる。

昔は、学校の部活動の平日の練習に先生はあまり来ておらず、週に1回とか2回程度だった。しかし安全管理などの問題から、活動時間中は常時いるように仕組みが変わっていった。これに伴って、競技経験のない顧問の先生方が技術指導の勉強やリスク管理、健康管理など、やらなければならないようになってしまった。

これからたった2年間で、現在の部活動と同等の指導力や環境を整えるのは難しい。提案として、柏市や広島市が行っているように、技術指導員を各部に1人ずつ配置し、指導は毎練習ではなく時々で、毎日の練習に関しては、補助員や見守りなどのもと、生徒が自主的に練習を行うのはいかがか。

技術指導員を練習日全日確保するのは難しくとも、補助や見守りなら行ってくれる方は地域にいらっしゃるだろう。

山口市は「すべての生徒がさまざまなスポーツ・文化芸術活動に親しめる環境が整っている」ことを目指している。専ら指導をはじめ全てを担う指導者だけではなく、活動の補助やケガやトラブルの対処を行う補助員の制度を設けると、この環境を保てるのではないか。指導はできなくとも、見守りならできるという方はいらっしゃるだろう。

学校の教員が行っている部活動指導を目指す必要はないと思う。廃部となることと比べると活動の場所が確保されるので、随分よいのではないか。

【事務局】

情報ありがとうございます。全国的には、指導を行う指導者と、見守り活動のようなことをされる補助的な役割をされる方を分けて募集しているケースも若干あると伺っている。御提案いただいたことも含め、今後検討していきたい。

【E委員】

指導者の確保が最大の課題と認識しているが、中体連の大会に出場するには指導者資格が必要となる。資格を取得している指導者を見つけるのは非常に難しいと思っている。資格はないが、指導しようという指導者はもしかしたらたくさんいらっしゃるかもしれないが、この場合、中体連の大会は参加できない。中体連大会だけが全てではないので、市や各協会等が、新たに大会を開催すれば、資格のない指導者が指導しているクラブも大会に参加できるのではないか。

ただ、中国大会、全国大会を目指していくのであれば、資格を取得し中体連大会に出場することとなる。

【G委員】

指導者の確保について、市の職員も記載されている。様々な勤務体系があるが、日勤の職員が地域クラブに関与したいと思った時に、日勤の定刻は17時15分で、指導時間は勤務時間中からとなるが、これの調整は検討されるのか。

【事務局】

今後、人事管理を担っている職員課と相談を行っていかなければならないが、市には兼職兼

業の仕組みがあるが、勤務時間中の対応とはなっていない。市の制度として、時差出勤があり、これに地域クラブ指導員を含めることができるのかを検討していきたい。業務執行も関わってくるので、一概には言えないが、希望する職員が参加できるよう検討していきたい。

【G委員】

教職員アンケートから、競技経験のない先生方が指導にあたっていractionすることがわかるが、顧問になられた時や、資格取得に向け、何かしら研修や講習会などを受ける機会があるのか。

【E委員】

研修会、講習会はなく、初心者先生は練習試合、大会などを通じて、経験のある先生に練習方法等を教えていただくなどし、併せて各種媒体を活用し勉強している。

資格取得は数万円かかる。

【F委員】

私は、部活動指導員として関わっているが、業務、勤務のすり合わせをしながら、どうにか指導に駆けつけている。

山口市には大学が3つあり、大学生が多いのでうまく活用できたらいいのではないかな。

【会長】

大学生の活用について、市スマートシティー推進室が中心となり、大学、産業、行政が連携し、課題解決を行うプラットフォームがあり、その中の議題の1つとして、学校部活動の地域移行も挙がっており、ワーキンググループにて、学生が、どういった条件を整えば指導者として参加しやすいのか検討されている。

今後、ワーキンググループの検討状況も参考にしながら、学生の方の活用も考えていきたい。

【K委員】

地域クラブが市の施設を利用して活動する場合は、照明使用料を減免する想定か。

【事務局】

現在、減免規定においては地域クラブの扱いをどうするかは、まだ決定していない状況ではあるが、地域クラブを市が設置をして市が運営するところを鑑み、何らかの免除措置を講じる必要があると室としては思っているが、まだ担当課等々と議論している状況ではない。

【L委員】

この協議会の今後の予定、移行のスケジュールと内容の見通しはあるか。

今後の移行のゴールがイメージしづらく、先進的な県や市町村の事例を提示してもらい、例えば先進地の視察や、先進地域の指導者に来ていただいお話しいただければ、議論も進みやすいのではないかな。

また、路傍塾の活用も検討いただきたい。

【会長】

先進的な事例は次回にでも紹介できればと思うがいかがか。

【事務局】

山口市の地域クラブの移行モデルは、他市と比べると特殊なケースである。学校区単位の立上げは県内ではなく、全国でもまれなケースである。広い市域であることなどを鑑み、子どもたちの活動の場を確保することを考えると、学校区単位の立上げが望ましいと考えたところである。17校区に、それぞれの地域クラブを立ち上げる思想であり、各地域クラブを切り盛りする人材が必要だと思っている。運営モデルは、全体を統括する本部、その下に、17校区の地域クラブという2階建ての組織を考えており、基本的には今ある部活動を市が経営をし、指導を地域の方が行う、指導者のみの変更となるイメージだが、改めてイメージ図でお示ししようと思う。

先進事例については、類似するモデルは少ないが、次回お示ししたい。

【会長】

今後の予定については、今年度が3回、次年度については、ガイドラインの策定後に調整とあったところか。

【事務局】

市が運営母体で立ち上げるという全容を承知いただいたうえで今後のスケジュールとなると思うので、まずは次回イメージをお示したい。

【L委員】

人材育成の視点でなんらか考えていることはあるか。

【事務局】

指導者としての心得や、救急救命等の講習会を市としても実施していきたい。

また、資格取得に関しても、取得には少なくない費用負担が生じるため、予算に関わることであるが、なんらかの支援は考えていきたい。

【K委員】

今後中学校入学者の入学・進学説明会等で、令和7年度入学生は2年、令和8年度入学生は入って半年で移行となるが、現場で説明するにあたってどのような御苦労があるのか。

【C委員】

以前勤務していた市では、市の担当者が学校に出向いて説明され、大変助かった。山口市もお願いしたい。

保護者からはたくさんの質問がある。先が見えないので、本当不安に思っておられ、学校と

しては、わかっていることはお話ししていくつもりである。

【事務局】

室としては、地域移行の全容が固まっていない状況で学校に赴いて説明すると、逆に誤解を招くこともありうると思っている。ある程度全容が固まり全体が見える状況になってから、各学校の方に出向いて説明会をさせていただきたい。

今ある情報については、部活動地域移行通信でしっかりお示ししたい。

【J委員】

この地域移行は子どもたちのために、「すべての生徒が、さまざまなスポーツ・文化芸術活動に親しめる環境が整っている」ことを目指す、生徒ファーストに立ったものであるからこそ、今の学校単位での活動を移行するのが一番であろうと考えてくれたものだと思う。この姿勢にこだわったからこそ、スケジュールが遅れているが、これを気にする必要はない。

他市の事例からも急いでもあまりいい結果になっておらず、部活動が廃部になっている例も見る。山口市はしっかり生徒ファーストで進めており、本当にありがたいと思う。

今回の部活動地域移行通信には、生徒たちの活動の場が保たれるということをよりわかりやすい表現で示していただきたい。

【会長】

市長の挨拶にあったように、生徒ファーストの目線で進めたい。

【H委員】

昨年11月に県の地域クラブ活動の指導者に向けた研修があり、受講をした。

救急救命士からの講習もあったが、実演を見るだけで、受講資格をいただけるわけでもなく、少々残念に感じた。

市の地域クラブ指導員として、保護者の皆さんにも安心していただくためにも、例えば指導者は市が開催する救命講習を受講し、資格もしくは受講終了証を所持していることが条件とするなどしてはどうか。また、その受講状況が保護者の方々にも、わかるような仕組みをお願いしたい。

【事務局】

今年度も県の研修は予定されている。市としてもしっかり指導者に対しての研修は行っていきたいと思っており、内容についても、十分検討してまいりたい。

【会長】

研修などについては、議題3にあるガイドラインの中にも取り込んでいくこととなるだろう。

【会長】

議題3「地域クラブ運営ガイドラインの策定」について、策定することに異議もしくは疑義等

	がないか確認。→異議、疑義なし 【会長】 その他、質問や意見等求める。 【M委員】 現在ある部活動に移行することを基本とする方向であることは理解したが、現在設置のない活動も地域クラブになるのではないかと考えている子ども、保護者もいらっしゃるので、今後、第二段階の見直しでは、そういった声を反映していただければと思っている。 【会長】 本日の議事は全て終了し、進行を事務局へお返しします。 —議事終了— —進行を事務局へ— 3 その他 【事務局】 次回以降の協議会予定について説明。 第2回を11月下旬、第3回を2月頃に開催したい。 —会議終了—
資料	(資料1) 山口市の中学校部活動の現状と部活動地域移行の進捗状況 (資料2) 地域クラブに関する検討事項 (資料3) 地域クラブ運営ガイドラインの策定 (参考資料1) 令和6年度山口市立中学校部員数一覧 (参考資料2) 令和6年度山口市立中学校の部活動状況 (参考資料3) 令和6年度中学校部活動地域移行に関するアンケート結果
問い合わせ先	交流創造部 部活動地域移行推進室 TEL 083-934-2672